



川西町・三宅町式下中学校組合立

式下中学校

「学校通信」Believe (ビリーブ)

令和2年5月11日（月）—令和2年度第4号— 文責 中本克広

今を、読書の好機に！

ずいぶん前から、一度読みたいと思っていた小説のうちの一つ、ヘミングウェイ著『老人と海』を連休中に読み終えることができました。どんなお話かを紹介します。

舞台は、キューバ北方メキシコ湾の沖合。84日間、一匹も釣れない日が続いた主人公の老漁夫サンチャゴは、この日も一人で小型の帆かけ船で沖に向かう。すると、5mを越す大物カジキマグロが綱にかかり、三日に及ぶ格闘の末に釣り上げたものの、大きすぎたため小舟の縁にくくり付けて帰港の途につく。しかし、その道中、サメが次から次へとサンチャゴのカジキマグロに襲いかかる。サンチャゴはそのたびにサメとの闘いを続けるが、

とうとうマグロは頭と骨だけになってしまう。^{ひろうこんばい}疲労困憊、^{まんしんそうい}満身創痕の状態で漁港にたどりついたサンチャゴは、そのサンチャゴの帰りを待ちわび、彼を心から慕っている少年マノーリンが誠心誠意介抱する。

サンチャゴにとっては、魚が釣れても釣れなくても漁に出ることが生業であり、困難に直面し、克服することは、彼の人生そのものなのである。たとえ、久しぶりに釣り上げたカジキマグロが、何度も何度もサメに襲われて、頭と骨を残すのみとなってしまったとしても。

老人は、カジキマグロとの格闘の最中に何度も少年マノーリンのことを思う。少年は、40日くらい前までサンチャゴの船に同乗して助手を務めていた。船上で困り果てたサンチャゴは何度もつぶやく。「そうだ、あの子がいてくれたら。あの子がいてくれたら。」と。そして、少年が自分を待っていてくれることを信じて、最後の力をふりしぼって漁港に生還する。出迎えた少年はサンチャゴへの憧れの気持ちを言葉にして、傷ついた老人を勇気づけようとする。「ぼく、いろんなこと教わりたいんだもの。」「ぼく、お爺さんに教えてもらうことがたくさんあるんだから。」と。マノーリンにとって老漁夫は、人生を学ぶ先生であり、希望であったのだ。

改めて、マノーリンの言葉を読んでみると、サンチャゴを敬愛する気持ちに深く感動を覚えます。サンチャゴがカジキマグロを釣り上げるまでの描写にも引き込まれましたが、何より、老漁夫と少年の心と心のふれあいに胸を打たれました。

いつか読みたいと思っていた作品を読み終えることができ、幸せです。「人間万事塞翁が馬(にんげんばんじさいおうがうま)」という言葉がありますが、今の状況を楽観も悲観もせず、時には笑顔を忘れずに、出口に向かって進んでいければと思います。

生徒のみなさんも、時間があれば、読書や自分の趣味を通じて楽しい時間を過ごしてくれることを切に願います。

家庭学習課題について

～復習と予習で基礎固めを～

5月8日は、各学年で職員作業が行われていました。各教科の先生が、前日までに準備された5月11日からの課題を袋に入れていく作業です。11日か12日には、おうちに届けていただきます。新学年の内容の予習に入っていきますので、少し難しくなるかもしれませんが、教科書を少しずつ読み進めながら、課題に取り組んでいってください。

このように、先生方は、臨時休業中も、家庭学習課題を作成したり、6月からの学校再開を願って授業の構想を練ったり、生徒のみなさんのことを思いながら、仕事をしています。そして、担任の先生方は、電話でみなさんの声が聞けたり、おうちの方からみなさんの元気な様子が聞けたりするとほっとしておられます。授業再開の日が待ち望まれますが、そのときまで、お互いに心の手をつなぎながら、それぞれの場所で頑張っていきましょう。

なお、みなさんがおうちで一生懸命取り組んだ家庭学習課題は、各教科の1学期の評価に入りますので、計画的に済ませて、提出してくれることを期待しています。



心の相談室電話相談の御案内

4月にお届けしました「心の相談室だより」でお伝えいたしましたとおり、臨時休業中ですが、5月15日（金）、スクールカウンセラーの原田恵梨香先生が来校されます。

生徒のみなさん、保護者様どちらからでも、午前10:00～午後3:30、電話での相談が可能です。当日申し込みもお受けしますが、調整の都合上、できる限り前日までの御予約をお願いいたします。お申し込みは、学校（電話 0745-44-0039）まで、御連絡をお願いいたします。（窓口＝相談室担当：菅原〈すがわら〉先生）

※本紙裏面に、県立教育研究所で行われている「電話教育相談」についても掲載していますので、御参照ください。

手洗いの励行について

私は最近、こまめに手を洗うことを心がけるようになりました。しかし、自分が手を洗っている時間を計ってみますと、できるだけ時間をかけて洗っているつもりでも、約30秒しかたっていませんでした。

私たちが日常的にできることの 하나가手洗いです。自分が【いつ】手洗いをしているか、また、手の【どの部分を】洗っているか、どれぐらいの時間をかけているかを意識して手洗いをしてみましょう。[ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ]を2回繰り返すと効果的だと言われています。学校再開時には、各学級教室前に、手指消毒アルコールも常備しますので、手洗いと消毒を併用して、予防に努めましょう。

そして、何より蛇口をひねって清潔な水が出ることやうがいができることに感謝したいものです。（ちなみに、水道水がそのまま飲めるのは、世界196カ国中15の国しかないそうです。興味のある人は調べてみてください。）

【いつ】

トイレのあとはもちろん、帰宅時、食事前 etc.

【どの部分を】

指先・親指の付け根・指と指の間・手のひらのしわ・爪の間
・手首 etc.



